人間味あふれる、若き弁護士

関矢法律事務所

弁護士　関矢聡史 氏
柏崎市駅前1-4-26 柏崎駅前ビル3階
Tel.41-6252　Fax.41-6253

台風十四号を警戒しながら、今回は柏崎駅前にある関矢法律事務所へ伺いました。

関矢先生は東京で五年間弁護士として働いた後、平成三十一年四月、柏崎に事務所を設立。柏崎生まれの三十九歳、独身。田尻小、東中、常盤高校、大東文化大学、同大学の法科大学院へと進み、司法試験を突破されたそうです。「中高生の頃は全く勉強しなかったんですよ」と、関矢先生。特に目標もなく、「英文科へ進もうとオヤジ（商議所・副会頭関矢浩章 氏）に言ったら、『英語だったら大学で学ぶより海外へ行け。そのくらいしないと意味がない』みたいなことを言われ断念。何となく法律の道へ進むことにしましたが、実際に学んでみると楽しく、例えば、警察の職質には限界があるとか……（笑）。日々の何気ない行動と法律が繋がった時、面白いなって」と、すべてに紐付いている法律の奥深さに気づいたそうです。

主な仕事内容を伺うと、「得意というわけではないですが離婚相談。これは全国どこでも増えています。刑事事件も扱いますが、最近目立つのはコロナ禍での経済的相談ですかね」とのこと。

プライベートについては、「自分の家はありますが、ほぼ実家にいます。事務所から近いんで……」。お父様とたまには一杯やるんですかと質問すると、「私、お酒飲まないんですよ。それとオヤジとは、あまり会いません。別に仲が悪いとか言うんじゃなくて（笑）。私、夜行性なんです。試験勉強もそうでしたが、夜の方が集中できるので。今でも仕事から帰るのは朝の五時頃です」と、大変な様子です。

趣味を伺うと、「昔はよくやっていましたが、たまにはパチンコに行きたいですね。映画も好き。大学の頃は、週に十本以上見ていました。漫画喫茶も好きで、勉強は漫喫が多かったなぁ。落ち着くんですよね」と笑顔で答えてくれました。ご両親については、「私が弁護士を目指すとなった時から、ずっと背中を押し続けてくれました。感謝の言葉しかありません」と想いが溢れていました。

Uターンの理由については、「東京で独立するより、生まれ故郷・柏崎での可能性を感じました。同級生や両親の知り合い、そういった繋がりを有り難く感じます。弁護士の認知度を上げ、気軽に相談できる存在になりたいです」と話されました。

やさしい語り口で親しみやすい関矢先生。様々な事案を解決に導いてくれる心強い存在です。

（十人衆 ㊥・㊟ 取材）

柏崎元気人登場 なじょだね とは……？

当紙に掲載している『柏崎元気人登場 なじょだね』は、柏崎地域の事業所を取材に行き、代表者の人となりや会社に込める想い、どのようなお仕事を行っているかなどをご紹介するコーナーです。

取材には、商工会議所の会員で、会議所と会員の皆様とのパイプ役として活動を行っている小規模企業振興委員会の中から十名の方より『なじょだね編集委員』を務めていただき、毎月分担しながら取材・原稿作成を行っています。

様々なお仕事で活躍されている会員の方々をご紹介していきますので、ご期待ください。